
「当院における *Mycobacterium abscessus* に対する化学療法の現状と今後の課題」に関するお知らせ

本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2021年1月1日から2023年12月31日の期間に埼玉医科大学総合医療センターを受診し、肺非結核性抗酸菌症と診断され、治療を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

肺非結核性抗酸菌症(NTM)の治療は、近年薬剤耐性の懸念から複数の抗菌薬を組み合わせる治療が主流となっています。当院の *Mycobacterium abscessus* の検出および、一般的な治療方法と当院で行われた治療内容を比較調査することで治療上の課題を見つけ、より優れた薬学的管理の提供につなげることを目的とします。

3. 研究期間

病院長の許可後～2024年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2024年7月4日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

診療科別患者数、患者情報（基礎疾患、年齢、性別、身長、体重、併用薬等）、臨床検査値（生化学検査、血算）、抗酸菌培養結果、NTM治療方法（治療薬、治療期間、副作用等）、*Mycobacterium abscessus*のマクロライド系薬剤に対する感受性検査、アミカシンのTDM歴

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である齊藤 琴音が管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

当院にて肺非結核性抗酸菌症の治療をされた患者さんの、検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

研究責任者：薬剤部	薬剤師	薬剤師	齊藤琴音
研究実施者：薬剤部	薬剤師	課長	大澤雄一郎
	薬剤部	薬剤師	福田慎一郎
	薬剤部	薬剤師	阿部貴大
	薬剤部	薬剤師	小島光寛
	薬剤部	薬剤師	堀田真由
	薬剤部	部長	近藤正巳

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 薬剤部 齊藤 琴音

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：049-228-3543（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：当院における *Mycobacterium abscessus* に対する化学療法の現状と今後の課題

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 薬剤部 齊藤 琴音